

- 【出席率】 会員57名中47名
【先々週の出席率】 80. 77%
【ヴィジター】
2009～2010年度第4分区AG 米山忠俊君
【先週のメークアップ】
2/17 次年度第4分区会長会議へ
佐藤嘉男君
2/18 三条RCへ 佐々木常行君
2/18 中条RCへ 馬場信彦君 蕪澤喜一郎君
2/22 ロータリー財団セミナーへ
馬場信彦君 馬場一敏君 野崎正明君
田代徳太郎君



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]
会 長 吉 井 正 孝
幹 事 鈴 木 圀 彦
S A A 野 中 悟

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095
E-maile info@sanjo-minami.jp
URL <http://www.sanjo-minami.jp>

会長挨拶

吉井 正孝 会長

こんにちは。今日は次年度 植木年度で第四分区AGをお務め頂く三条北クラブの米山忠俊さんをお迎えいたしました。のち程ご挨拶を頂戴いたします。

また併せて、先週の例会で予告いたしました待望の新入会員、当クラブ名誉会員でおられます馬場茂夫さんのご長男で現馬場長金物社長の馬場眞樹さんが初めて出席されました。馬場さんからものち程ご挨拶を頂き、ロータリーの「七つ道具」をお渡しいたします。

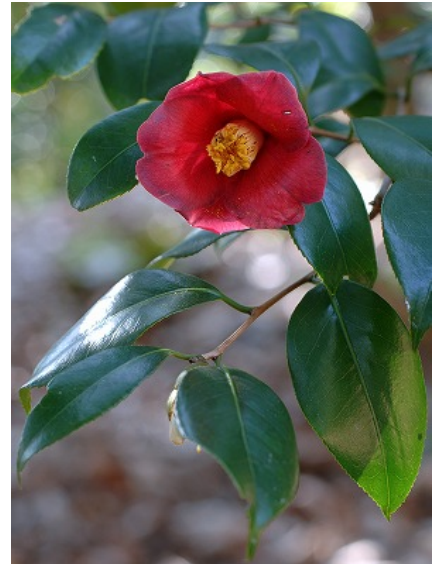
馬場新会員には、一日も早く当クラブに馴染んでいただきますよう、お願い申し上げます。

さて今日の暦をみますと、今から12年前の今日2月23日、イギリスで初めてクローン羊「ドリー」が誕生した日だそうです。私はこう言った「神をも恐れぬ所業」には、あまり賛同できないので深くは触れない事にします。

ところで、皆様も既に三条新聞でご覧になったことと思いますが、会員の吉田秀治さんの会社「マルヨネ」様が、このたび「越後の撰」で日本商工会議所会頭努力賞を受賞されました。誠におめでとうございます。私もたびたび家でいただいておりますが、代表的な「車麩」だけでなく、大きさも色も様々に工夫を凝らされ、家族構成まで意識して食卓のニーズを的確にキャッチされているご努力には頭がさがります。併せて調理の「レシピ集」までも添えられる丁寧さであります。まさに三条名産品の逸品「代表格」と言ったところでしょうか。

消費者ニーズを掴むと言う意味で、我々の業界では今ターゲットは省エネ・省資源……。主婦の厳しい目にさらされる所謂「白物家電」の中でも、消費電力が少ない「大型冷蔵庫」、水の消費が少ない「ドラム型洗濯機」や「食器洗浄機」など。近年の省エネ・ブームを反映して、国も「省エネルギーセンター」等、幾つかの機関で毎年その年の優秀な製品を選定し、賞を与えてブームを後押ししています。「省エネ目標達成率」などの表示がその類です。ただ、これらの製品は、同種の商品と比較して割高な製品が多いのがネック。この点で消費者は「イニシャル・コスト」と「ランニング・コスト」の問題で悩む事になります。

食事時恐縮ですが、私は先日わが家のトイレに「ウォシュレット」を取り付けました。





製品はパナソニック製。どちらかと言えば後発メーカーの松下は、TOTOや INAX など、既存の殆どどのメーカー品に合うように作られ、付属品も全て同梱されています。取り付けも比較的簡単で、一時間程で工事は終わります。二週間ほど前の日曜日、一時間程で私のトイレ工事も無事完了。その日は数回「テスト」を繰り返し、女房殿にも褒められルンルン気分で翌朝会社に向かいました。

午前 10 時頃、けたたましく私のケータイが鳴りました。「大変よ～、家中水浸しよ・・・！」とパニック状態。驚いて帰って見ると、女房殿はトイレの前で雑巾もって「仁王立ち」。

なるほど「大洪水」の惨状でした。トイレ内部と廊下がひどい水浸し・・・。キッチンと止めた筈の水栓と便座ホースの「接続不良」が原因でした。万

が一、今一度こんな事が起きたらこう対処しろ・・・と、何となくしまらない変な対処方法だけ教えて、スゴスゴ会社へ戻りましたが、尊敬される筈が、評判は落とすし、イヤミは言われ続けるし、さんざんの「日曜大工」でした。今の処は、順調に稼動しておる事だけは、ここで付け加えておきます。「オチ」と「ケチ」がついた話で、今日のご挨拶を終わります。

新会員紹介

□馬場 眞樹 (ばば まさき) 君
 生年月日 1971 (S46) 年 3 月 20 日 (38 歳)
 勤務先 馬場長金物 (株) 代表取締役
 勤務先住所 三条市北新保 2-7-5
 TEL 32-2251
 FAX 32-2253
 Eメール babacho@ginzado.ne.jp
 自宅 三条市東新保 13-43
 TEL 33-6835
 家族 妻、長男、長女
 趣味 野球



ようこそ 米山アシスタントガバナー

2009～2010 年度第 4 分区アシスタントガバナー 米山 忠俊 様
 (三条北 RC)



3 月 14 日に「PETS」、5 月 22 日に「地区協議会」が開催されますがその前に第 1 回クラブ訪問としてお邪魔させていただきました。

皆様ご存知のように次年度の植木ガバナーは、建設業 植木組の会長でいらっしゃるが、縁あって同業の私が第 4 分区のアシスタントガバナーを務めさせて頂くことになりました。

また、馬場ガバナー年度では地区拡大委員の任を受け、皆様には大変お世話になり有難うございました。馬場年度では新しいクラブの設立までは難しいようですが、植木年度へ引き継がれ、次年度には新設クラブが誕生できるのではないかと期待されるようです。

植木ガバナーと第 4 分区クラブのパイプ役に努めたいと存じます、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

●馬場ガバナー事務所より

①ロータリーレート変更のお知らせ 3 月 1 日より 1 ドル 現行 88 円 → 90 円

②第 100 回バーミンガム国際大会、登録のお願い

③ローターアクト第 39 回地区年次大会 のご案内

日 時 3 月 8 日 (日) 9:30～

会 場 学生総合プラザ「STEP」

●三条ローターアクトクラブより「地球環境講演会」開催のご案内

日時 4月12日(日) 13:00~16:00
 会場 県央リサーチコア
 講師 高木善之氏(NPO法人ネットワーク「地球村」代表)
 「美しい地球を子供たちに・・・」
 チケット 前売り 1,000円 当日 1,200円
 お求めは三条ロータークラブ事務局へ

ニコニコボックス

～・ 2月23日 43,000円 今年度累計 734,000円 ・～

- 三条北RC 米山君 こんにちには。三条北RC米山です。植木年度で第4分区アシスタントガバナーをやらせて頂くことになりました。今日のご挨拶に伺いました。これから大変お世話になります。
- 吉井君 新会員の馬場眞樹さんの入会を歓迎します。
 本日は、救急体制についての大事なお話です。草野先生、卓話よろしくお願ひ致します。
- 鈴木(囿)君 ①本日の卓話、草野先生よろしくお願ひ致します。
 ②今日入会されました馬場眞樹さん、歓迎致します。
- 吉田君 ①昨日が家内の四十九日でした。クラブの皆様にご大変お世話様になりました。
 ②当社の製品が日商会長努力賞に選ばれました。
- 渡邊(久)君 孫娘が医学部に入学できました。草野先生、本日はご苦労さまです。
- 草野君 本日、卓話です。よろしくお願ひ致します。
- 丸田君 北クラブの米山さん、ようこそ！ 次年度AG大変ご苦労様です。
- 野中君 次年度AGをお迎えして。
- 長谷川君 景気も天候もはっきり致しません。春が待ち遠しい今日この頃です。
 ①草野先生、卓話ご苦労様です。②佐藤BOXに協力して ③馬場新入会員を歓迎して
- 若井君、馬場(一)君 馬場眞樹さんの入会を心より歓迎致します。
- 佐藤(秀)君 穏やかな毎日です。これが一番かな…？ BOXに協力します。
- 鈴木(武)君 BOXが手ぐすねをひいていましたので。
- 船久保君、広岡君、野崎君、西巻君、坪井君、谷君、田代君、木原君、大溪君、安達君、相田君 草野先生、卓話ご苦労様です。期待しております。
- 田中(悌)君、坂井(範)君、大久保君、石山君、飯山君 BOXに協力致します。
- 佐藤(栄)君 この大不況の中、かくも大勢様のニコニコ 痛み入ります。

3月のお祝い

会 員 誕 生

2日 谷 晴夫君	18日 坂井栄作君
20日 馬場眞樹君	25日 齋藤嘉一君

夫 人 誕 生

3日 大原真知子(義弘)さん	4日 田代恵美子(徳太郎)さん
5日 平松貴子(修之)さん	18日 広岡頼子(豊樹)さん
31日 西巻富紗(克郎)さん	

結 婚 記 念

4日 三野輪明人君・多加子さん	5日 丸田肇一君・静江さん
14日 広岡豊樹君・頼子さん	16日 安達 裕君・範子さん
21日 坪井正康君・恭子さん	28日 渡邊光郎君・ノリさん
30日 馬場一敏君・静子さん	

* * おめでとうございます * *





私は、「県央地域の救急医療のあり方に関する検討会」の会長を務めております。

現在、興野 1 丁目、旧三条東高校敷地内跡地に「県央医師会応急診療所」が建設中で、今年 4 月オープン予定です。この診療所には「第一次救急施設」という名前がついています。一般の方はあまりご存じではないかもしれませんが、救急施設は、第一次、二次、三次という区別があり、実はこれが皆さんに知って頂きたい重要なキーワードのひとつです。

- * 一次救急施設・・・診療所、救急を扱う診療所
- * 二次救急・・・病院で救急を扱う
- * 三次救急・・・救命救急センターを持つ病院

この区分けがなされたのは、昭和 52 年、今から 30 年ほど前になりますが、当時、三次救急施設の建築に国が着手致しました。現在この三次救急施設は、100 万人に 30 ベッドと区分けがされ、すでに 204 施設ができており、人口 2 億人に対応できるものになりました。つまり、造り過ぎたわけです。ところが、一次、二次は対策が立たず、一次救急、二次救急が置き去りにされたまま今に至ったというのが現状です。

それでは、三条市を含めた県央地域における次救急体制はというと、三次救急は無く、一次、二次でこの地域の救急を診ているわけです。

現在、夜間の患者さんは、三条で 20 人程、県央全体では 40 人を超え、この 40 人の患者さんを一次と二次で診ている状況です。

救急車の出動回数ですが、三条市で年間 3,300 回、県央全体で 9,000 回、つまり一日あたり 25 台は出動し、25 人の患者さんを搬送しているわけです。その内、県央外に搬送される方が、夜間に限って見ますと 15%位、ということは一晩で 3 人位ずつ、この県央地域から出ていかざるを得ないのです。三次救急が無いためにこのようなことが起こるわけですから、どうしても三次救急施設が必要となってきたのです。

一次、二次については、これは三条市、県央地域だけでの問題ではなく、全国どこでも同じ状況なのですが、一次救急を担っておられた診療所の先生方の高齢化や医院と住まいが別になっていること、調剤薬局になったこと、患者さんからの要求が非常に高度になったこと等の理由で、一次救急がほとんど成り立たなくなっています。現実、一次救急はほとんどありません。三条市内で見ますと、救急患者さんの 7%位を診療所で診て頂いていますが、あとの 93%は病院で診ています。つまり、一次、二次の区別が無くなり、救急患者さんは全て二次救急病院に担ぎ込まれている状況なのです。

そうなりますと、二次救急を担っている病院の医師達は疲労困憊して、ついには辞めてしまい、結果的に医師不足になっていきます。

病院では、日中 8 時間勤務致します。更に当直の場合は続けて夕方 6 時から翌朝 9 時まで働き、そして朝になっても帰ることはできず、そのまま翌日一日の勤務につきます。つまり、当直する医師は 36 時間連続で仕事をしています。

そのような状況で、病院の医師も救急患者さんを診れない状況になってきましたが、これは三条市や県央地域だけでなく全国共通の問題になっています。

このような県央地域における医療事情を考え、「県央地域の救急医療のあり方に関する検討会」が開かれた訳です。この検討会は、副会長に加茂市医師会会長の五十嵐先生、この五十嵐先生は市議会に出席された折、小池市長と丁々発止と渡り合われた非常に重要な方です。委員に、三条市から桑原副会長、加茂市から小池先生、燕市から古川燕市医師会会長、青山先生、見附市から田崎見附市医師会会長、旧栄町で開業の中島先生の 8 名で検討委員会を構成しています。

一昨年 4 月に第 1 回目の検討会が開かれ、その後十数回の検討会を重ね協議を進め、内容を煮詰めて参りましたが、今春いよいよ診療開始予定の第一次救急医療施設「県央医師会応急診療所」についてご説明致します。

この検討会、第1回目には、各市長、町長、村長の皆さんにお集まりいただき、順調な滑り出しを致しましたが、2回目以降、非常に波乱含みの会議となり、大変な思いでした。しかし、昨年10月の会議までに重要案件は全部決定し、その後は細部の内容検討を進めているところです。

応急診療所の場所は、当初、三条燕インター周辺1km以内と考えていましたが適当な土地が見つからず、3km以内に変更した後、結局三条市の所有地である、旧三条東高校跡地に決まりました。使用させて頂く広さは3,000㎡、135坪の建物を造って頂く予定で工事も順調に進んでいます。

診療内容は、これも議論の種になりましたが、結局、内科・小児科の一科、外科・整形外科の一科で、二つの科で運営されます。医師数はそれに合わせて2名、看護師2名、薬剤師1名が勤務致します。

診療時間も非常に議論されましたが、まず午後7:00~10:00でスタートすることになりました。これは1年365日です。休日の昼間は午前9:00~夕方4:30も受付け、毎日2名の医師が必ず勤務しています。

この「県央医師会応急診療所」の果たす役割ですが、実は、平成15年から三条、加茂、見附、燕、の4医師会で365日の内科系のみの夜間救急診療を午後7:30~9:30まで実施していました。しかし、それだけではどうしても患者さんに対応しきれず、二次救急の病院の先生方の負担が全くとれていないという実情がありました。これを踏まえて、診療時間を少しでも長く、また、病院の先生方への負担を解消できるようにとの思いから、この新しい診療所をやろうということになったのです。そして、新たに外科系も含める事でかなりの患者さんを診ることができるようではないかと考えています。

この新しい診療所には大事な2つのキーワードがあります。

1、「ファーストタッチ」

これは、一次救急診療なので、とにかく患者さんを先に診ましょうということです。各病院のかかりつけの患者さん達でも一次救急で済む比較的軽症な方は病院からまわして頂く、それによって病院の先生方の労力を減らすことができます。

しかし、非常に重症な患者さん（軽症でない方）は、この一次救急診療所では診れませんので、救急隊の判断で最初から十分な治療が受けられる設備の整った、また、その専門医がおられる病院、二次救急に搬送して頂く、つまり、一次と二次をきちんと分けていく事でスタートしています。

2、「振り分け」

振り分けというのは、患者さんが一次救急診療所に来られ、そこで治療が済むものであれば良いのですがそこから病院にお願いしなければならないケースもありますので、その時に、「振り分けますからお願いします」と約束したわけです。それにより開業医の先生方が安心して診察できますので参加医師数が増えることにつながると考えました。

今年1月、以前は50名程度だった参加医師数が、何と96名に倍増致しました。これは実に素晴らしいことで、参加を表明して下さいました先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

弱体化してしまった地域の救急医療のために多くの開業医が立ち上がり、4月1日から365日の救急診療を始めて参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



建設が進む県央医師会応急診療所

(2009年1月末)



月信

国際ロータリー第 2560 地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

2008-2009 年度 2月号 Vol.8



2008-09 年度 第 2560 地区クラブ紹介

会員増強、出席率の向上に思う

見附クラブは 1983 年に創立され本年で 26 年目を迎えております。ここ数年わがクラブは会員減少に心を痛めております。ひと頃は 44 名の会員が在籍しておりましたが、経済の長期低迷で年々減少し現在 24 名になりました。また例会の出席率の低下がみられ、このままでは運営が危ぶまれますので、クラブ運営するのに、最低限 30 名以上の会員が必要と思います。

地域による経済格差もあると思いますが、入会をお願いに行くと、ある方は入会してもよいが例会には多忙で出席は出来ないということで、会員になってもほとんど出席しない人もいます。現役トップで働く多くの会員には、この出席義務は非常に大きな負担になっているようです。

ロータリークラブは、事業および専門職務の道徳的水準を高め社会奉仕を目的にする集まりだと思えます。そこで経済状況、事業環境の変化によって例会開催を毎週 1 回を、クラブによっては 2 週に 1 回にして負担を少なくする事も考えたらどうでしょうか。そうする事によって会員増強、出席率の向上につながるかと思えます。



見附 RC
平井 保 会長

信じていること

「吉田ロータリークラブとは？」・・・と自分自身に問うてみた時に、すぐさま【和気あいあいであつホームなクラブ】と答えが出てきます。

今年度 I.M 主催やこれからポチョンクラブとのマッチンググラントの事業計画を実行するこの時期、諸先輩方の円熟した意見と若い人達の柔軟な考え方がうまく融合し、なんでも話し合いのできる活力のある吉田ロータリークラブが出来ていると思えます。

又、会員の活動をご理解頂き支えて下さる奥様方にはいつもご協力頂いておりますが昨年末には奥様方と女性会員の会を計画し、岩室のお姐さん方と”男がする遊びを女もしてみよう”と一夜を楽しんで参りました。

私は、むずかしいのはさておいて「楽しい例会」「居心地の良い例会」を目指して半年をやって参りました。それが出席率にしろクラブ活性化にしろ全ての始まりと信じておりますから・・・



吉田 RC
平松 ユキエ会長

盛り上がる夜例会…更に元気に!!

三条北ロータリークラブの上半期は、何といても7月の七夕例会から始まった夜例会に尽きると思えます。8月のアロハ例会、9月の月見例会、10月のハロウィン例会、12月のクリスマスパーティーと、ほぼ毎月高森親睦委員長を中心に、委員会のメンバーが、趣向を凝らした内容で整えて下さった夜例会は会員の協力を得ながら、素晴らしく楽しい会となり、我がクラブの親睦と団結が更に深まった事と思えます。又、親睦だけに終始することなく、R財団、米山奨学の寄付はすでに目標を十二分にクリアしました。北クラブ設立の原点である青少年健全育成の社会奉仕事業も10月に第一弾を終え、第二弾として食育講演会を3月に予定しており、現在その準備を整えている所であります。残す下半期も我が北ロータリークラブは楽しく元気にやってゆきます。



三条北 RC
石川 友意会長

ミニクラブでも輝くクラブに!

創立 66 年目を迎えた田上あじさいロータリークラブは、現在会員 11 名です。創立当初は 38 名の会員でスタートしました。地域への奉仕を第一に活動してきました。我クラブの合言葉は”会員増強”です。そのために力を結集することが第一の努力目標であり

我々の念願です。現在我々会員は一人二役、三役のまさに”八面六臂”の活躍です。昨年加茂クラブの支援を得て地区の護摩堂山登山を成功させました。”やれば出来る”の結果を生み出しました。これが我クラブの誇りです。



田上あじさい RC
佐藤 邦義会長